

【参考】いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」受賞者一覧

賞	活動プラン
知事賞	<p>「大学生や高校生による不登校児童生徒へのオンラインでの支援活動～オンラインでの新しい場所の創出～」 <For Everyone Study 代表 植竹智央></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生や高校生等が、不登校の児童生徒たちに対し、現在、オンラインで、学習支援や話し相手をしており、今後は、さらに、メタバース空間で、スタッフと児童生徒たちとの交流を計画している。 ○ オンラインでの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・大学との共同研究により「オンラインでの不登校児童生徒への支援は、対面での活動が苦手な子供たちに親和性がある」ことを確認した。 ・実際に支援した17人の児童生徒のうち、9人が学校に復帰した（週1回登校や放課後登校を含む）。 ・教える側のスタッフには、過去に不登校の経験を持つ者がおり、その経験を生かして寄り添うことができている（学校へ行こうとは言わず、もっと他の人に会ってみたいという余韻をもたせることが大切）。 ・オンラインで「不登校関係者情報交換会」を開催し、保護者や教員と情報を共有。 ○ メタバースによる支援 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の中には、Zoomで顔を出したくない子やゲーミフィケーションを通してのかかわりが向いている子も多くいる。 ・そこで、スタッフの中にVRアバターを製作できる者がおり、不登校児童生徒とアバターの作製や講座の開催を行いたい。また、メタバース空間でのフリースクールの設置を考えている。 ・これにより、他者との交流に慣れ、社会的自立の促進の一助としたい。
理事長賞	<p>「子ども食堂とドローン教室で夢と笑顔が広がる社会をつくる Big smile project」 < Big smile project 代表 本橋綾子></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経済的に厳しい環境にある児童を対象として、現在、子供食堂や文具の提供支援などを行なっているが、これに加え、今後、次の三つの支援を計画している。 <ol style="list-style-type: none"> ① 無償ドローン教室 <ul style="list-style-type: none"> ・食事支援とともに、ドローンの操縦体験を実施したところ、子供たちの表情が非常に生き生きとして、豊かになったことから、大きな夢と希望を持ってもらうため、本格実施したい。 ・ドローンのプログラミングを学習できる教室を来年8月に開校予定。定員10人。 ・ドローンの役割や操縦ルールを学ぶことにより、職業的自立意識も喚起。 ② 高校生に対する通学定期代支援 <ul style="list-style-type: none"> ・通学費を捻出できないため、希望高への進学を諦めている子を対象に、月1万円の定期代支援を行う。対象3人。 ③ 親子を対象とした個別相談 10組
奨励賞	<p>「介護助手養成 ちいすけ」 < NPO 法人ちいきの学校 理事長 大久保泰子></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護助手として、65歳以上のアクティブシニアの方々に洗濯や送迎業務などを担っていただき、介護の専門職が本来の自分の仕事に専念できるようにさせたい。 ○ そのため、次の事業を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 介護助手養成のための介護講座を開催し、介護の基礎知識を学ばせる。 ② 介護助手として雇用したい事業所と受講者との交流の場を作り、介護施設への見学や雇用のための面談の機会を作る。
奨励賞	<p>「高校生コンソーシアムと地域が協同する「学びのサポート」活動」 < 高校生の社会参画ネットワーク「一つ空の下で (UNSAM)」代表コーチ 大滝 修></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生が地域の課題を把握して、イベントや支援を企画・実行し、教員がコーチ役と条件整備を行い、大学生は主にメンター（相談役）として参加。 ○ 実施事業 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、取手市内の子ども食堂2カ所に、高校生や大学生が赴き、学習支援や相談、遊び相手を行なっている。 ・このほか、子ども文化祭（子ども食堂合同運動会）を開催し、子ども食堂への理解の輪を広めた。 ・街頭募金を行い、子ども食堂の食材支援、ウクライナの難民募金活動等を行なった。 （当団体の主な活動資金は、取手市やロータリークラブが提供） ○ 今後の活動計画は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂の学習支援を1カ所増やす。 ・毎年、活動する高校生が入れ替わるので、子ども食堂での学習支援等をする生徒の確保を図るとともに、野菜等の食材支援を行う。